

【令和2年度使用教科用図書採択に係る 第2回選定委員会】

事務局 ただいまより、令和2年度使用教科用図書 採択のための第2回選定委員会を開催いたします。本日の選定委員会の進行を努めます。よろしくお願いいたします。

それでは、開催にあたりまして、選定委員会委員長よりご挨拶をお願いいたします。

委員長 【挨拶】

事務局 それでは、本日の資料及び委員会の流れについて事務局より説明させていただきます。まず資料をご確認ください。

- (1) 第2回選定委員会 次第
- (2) 第2回選定委員会 会場図
- (3) 令和2年度使用教科用図書 採択事務日程
- (4) 調査報告書（小学校）
- (5) 調査員とりまとめ会記録（小学校）
- (6) 令和2年度使用教科用図書選定資料（大阪府教育委員会）
- (7) 意見交流会記録まとめ
- (8) 市民からの意見書まとめ（6月21日現在）
- (9) 調査報告書（中学校）
- (10) 調査員とりまとめ会記録（中学校）

教科書見本本も準備しておりますので、必要に応じてご覧いただければと思います。それでは、本日の選定委員会について説明させていただきます。

事務局 本日は、教科書採択にあたり、調査員から調査報告を受ける会でございます。より専門的な調査研究を行うため、5月17日（金）から小学校教員の調査員により調査研究活動を実施し、本日お手元にごじます報告書を提出いただいております。

選定委員の皆様は、この報告書ならびに本日の調査員の報告をもとに、内容をご検討いただき、7月1日（月）の第3回選定委員会にて協議いただきます。事務局担当指導主事の方で作成します答申書の原案と合わせて協議いただきます。その協議結果等をふまえ、答申書を加筆修正の後、7月9日（火）第4回選定委員会にて確認、修正の後、教育委員会へ答申する運びとなります。

本日は、なにぶん限られた時間での報告でもあり、答申までの間に、各委員様が教科書センター及び拠点校である小学校、図書館等の見本本などを活用いただくなど、十分に検討いただきたく思っております。

なお、本日は、報告及び質疑応答を含め、各種目15分の時間をとっております。始め5分程度調査員からの報告があり、残り10分程度が質疑応答となっております。この報告書を初めて目にした段階で十分なやりとりは難しいかと思いますが、ぜひとも様々な視点からご質問いただき、協議の材料にさせていただけたらと考えます。なお、調査員が即答できない質問については、持ち帰っていただき、次回の選定委員会で担当指導主事より回答することといたしますのでよろしくお願いいたします。

なお、調査報告書の作成にあたっては、「プラス評価で表記し、積極的に評価できる部分が多くある教科書の報告書の記述内容は、量的に膨らむこととなります」と調査員に伝えておりますので、各教科書についての記述の量が調査員の意向を反映していることご理解いただければと思っております。以上でございますが、何かご質問はございますか。それでは、報告いたしますので、よろしくお願いいたします。

【国語】

国語調査員

国語教科用図書調査員とりまとめの報告をさせていただきます。新学習指導要領実施に伴い求められる学力として、説明的な文章を読み、それをもとに具体的な事象を抽象的に、また抽象的な事象から具体的な例を、80字～120字の短文で表現することが求められています。これは、小・中学校全国学力・学習状況調査や、また高校大学の入試改革からも見えてきたことです。

現代の課題をもとにしていることや、主体的に学習をすすめられるような手立てを多くのことしていること、また、考えたことを「書く」ことを大切に扱っていることが、6年間の学びを通して、中学校の学習にもつながっていくことを考え、調査しました。

「目標・内容の取扱い」について、「東京書籍」においては、バランスよく「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」について構成されています。現代の課題を十分に取り入れ、図表やグラフ、また、情報を相手にわかりやすく伝える記述、自分の考えを書くという教材を、多く取り入れているのが特徴です。また、その題材は、自然科学をテーマにしたもの、新聞や情報など、メディアに関するものが多く見られました。また「書く」ために「言葉の力」として、単元冒頭や単元末に身に付けたい力が明確に掲載されています。

「人権の取扱い」では、「東京書籍」は、命の尊厳・生きることの価値をはぐくむ教材、自然環境を大切に扱う教材が取り扱われています。例えば、2年生「外国の小学校について」、3年生は説明文として「世界各地の家について説明する」、4年生「暮らしの中での和洋の違い」、5年生「日本語と外国語について」という教材が取り扱われています。また、3年生については、パラリンピックを通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展への願いが養えるよう工夫されています。

「組織・配列について」は、同じ時期に同じ領域の学習がすすめられるような構成となっています。巻頭に見通しをもって学習が進められるよう国語の進め方が示され、「つかむ」「自分の考えをまとめる」「振り返る」「生かそう」で学んだことを、他教科の学習や生活でも活用できるよう取り扱われています。

「創意工夫について」では、図・写真・注釈が説明的な文章教材に用いられており、学習活動を、子供たちが自分で主体的にできるよう、支援するよう工夫されています。たとえば、6年生「町の未来をえがこう」では、自分たちの町の未来について、プレゼンテーションを行うゴールが設定され、その達成に向けて、「町の幸福論」について読み、そして街づくりについて調べる、集めた情報をもとに提案内容をグループで検討するという活動が取り扱われています。また、学校図書の活用については、各学年で取り扱われていて、さらにタブレット端末、パソコンなどの情報機器を活用した活動が6年生に盛り込まれています。

最後に「補充的・発展的な項目」では、読み物教材の最後に同一作者の本、テーマに関連した本の紹介があり、読書意欲のたかまりや、読書週間

の形成に役立っています。次に学校図書では、巻末に資料を配置し、教科書を入り口として、様々なジャンルの読み物に触れる機会を保障しています。「読書の部屋」では、児童が広く読書に親しむことができるよう、発達段階に応じた図書の紹介がされています。また、インターネットやコンピュータの活用、プロジェクターの資料提示など、児童が情報機器に触れるような活動を設定するよう配慮されています。「教育出版」では、ユニバーサルデザインを取り入れたつくりとなっています。また、各領域が偏りなく配置され、一つの単元で複数の領域が学べるよう扱われています。配列についても、2学年で同時期に同じ系統の学習をすることによって、螺旋的、反復的な学習ができるように工夫されています。また、児童が何のために何を学習するのか、見通しをもって学べるよう、学習の進め方を提示しています。「光村図書出版」では、「漢字教材・声に出して読もう・聞いて楽しもう・詩を楽しもう・季節のことば」などの小単元を位置づけ、メリハリのある構成となっています。「漢字の広場」「言葉の宝箱」では、1年生の入門期において、丁寧に語彙の取得、イメージができるように構成されています。また6年生「鳥獣戯画をよむ」や、古文、漢文、短歌など、日本の文化・伝統につながる教材も取り入れられています。また、ユニバーサルデザインについて学ぶ教材、平和教材を通して、自分で課題を設定して、共生社会の実現に向けた意欲や態度が、養われるよう工夫されています。教材としては、3年生「ちいちゃんのかげ送り」、4年生「一つの花」は平和教材です。「ランドセルはうみをこえて」、5年生「やなせたかし-アンパンマンの勇気」では、共生社会の実現に向けた態度・意欲が養われる教材となっております。教科・領域をまたがって言語活動ができるよう「クラブ活動」「学級会活動」など工夫されています。また「光村図書出版」では、「読書の領域」を大切に扱い、本の紹介も短い紹介文をつけたり、学校図書館の使い方・工夫、辞典の使い方を紹介しています。また、「本はともだち」の中で、系統的な指導が取り組みられています。QRコードを掲載しており、動画や補助教材へリンクできるようになっています。

委員 長 QRコードを掲載しており、動画や補助教材を見られるようになっていくとのことですが、これは、どの教室でも見ることが可能で、子供たちが見るようにできているのですか。

国語調査員 読み取る機器が必要となります。子供たちがうちの人と一緒に見ることもできますし、教室で担任がその機器を使ってみることも可能です。

委員 長 具体的には、どんな動画がうつるんですか。

国語調査員 1年生でしたら、詩と一緒に文字が見られるものとか、お手本になるようなもの、作者のメッセージが流れたり、いろいろな種類のものがあります。

委員 長 各者にあるのですか。

国語調査員 「東京書籍」にはあります。主に、子供たちが主体的に学べるということで、家庭学習で使えるようになっています。

副委員長 効果的な挿絵や図など視覚的にどのように工夫されているか。特徴的なところがあればおしえてください。

国語調査員 「東京書籍」は、色覚の多様性に配慮し色彩デザインを考慮し色以外の情報を加えていることで、色も鮮やかになっているのが、特徴です。また、ユニバーサルデザイン書体のフォントを開発、使用しています。また、目次・ページごとにわかりやすい色をつけています。こういう勉強をするよ、という見通しがもてるような色使いがされています。より色鮮やかに、わかりやすくなっています。「光村図書出版」は、伝統的な文化のところで鮮やかな色彩の写真・図を掲載しています。見やすいレイアウトにもなっています。

C 委員 主体的・対話的に学ぶための手立てについて、特徴的なところはありますか。

国語調査員 「東京書籍」は、学習の進め方の手順、ヒントが学びのポイントとして「ことばの力」として示されている。学習をする前に、この「ことばの力」で見通しをもって学習できるように「つかむ」だったり、こんな勉強をするよというのが、学習のはじめにのっけていて、そのあと勉強の仕方があり、一連の流れになっています。「光村図書出版」は、見開きでわかりやすく、とらえよう、などがあり、一覽でわかりやすく、どの単元にものっけています。「学習についての見通し」「振り返りのページ」を設けていて、学習した学びの跡が残るようにしています。

【書写】

書写調査員 書写についての調査報告をさせていただきます。1「目標・内容の取扱い」。どの教科書も、文字に対する関心を深め、文字を尊重する態度を育てる内容になっています。その中でも特徴的なものは、「東京書籍」と「教育出版」と「光村図書出版」です。「東京書籍」は高学年で七夕の短冊や、地元紹介リーフレット、豊臣秀吉の手紙、子供の命名用紙など、様々な例を用いています。「教育出版」は、低学年で「学校のもじたんけん」「町の文字たんけん」など、児童の身近なところから興味を持たせ、6年生ではパスポートやちょうちん、漫画で用いられている擬音表現など、社会に結びつける工夫をしています。「光村図書出版」は4年生で「身近な文字」として、町中の看板やマンホール、5年生では「震災時の手書きの壁新聞」などを取り上げています。

2「人権のとりあつかいについて」です。どの教科書も題材の言葉や文章などに、適切な配慮がなされていますが、その中でも特徴的なものは「東京書籍」と「光村図書出版」です。「東京書籍」は、お父さんが子供に読み聞かせをしている写真があり、男女共生の視点が活かされています。「光村図書出版」は、高学年で東日本大震災時の避難所の壁新聞を扱うほか、アイヌの文化、オバマ大統領の広島訪問、バリアフリーなど、多くの視点で配慮されています。

3 「内容の程度」ですが、どの教科書も児童の発達段階に配慮されています。その中でも特徴的なものは、「教育出版」と「光村図書出版」です。「教育出版」は、1年生では、生活科と関連させ、自然に興味をもてるように配慮されています。その他の学年でも、世界の文字を紹介するなど、それぞれの発達段階で、文字に興味をもてる配慮がされています。「光村図書出版」は、低学年で「しよしゃたいそう」を取り入れることで、書写に必要な筋肉を鍛え、よい姿勢を維持させるよう工夫しています。

4 「組織・配列」です。どの教科書も、児童の学びに即した系統性に配慮されており、知識をわかりやすく解説し、技能につながる工夫がされています。その中でも特徴的なものは、「学校図書」と「光村図書出版」です。「学校図書」では全学年で点画の書き方が具体的にわかりやすく解説されており、特に高学年では、硬筆の練習欄がとて多いので、技能につながるよう工夫されています。「光村図書出版」では低学年では指でなぞってから書く、3年生以上は手で空書きしてから毛筆で書くというように、児童に体感させることを意識して、技能につながるよう工夫されています。

5 「創意工夫」です。どの教科書も、主体的・対話的で深い学び工夫がされています。その中でも特徴的なものは、「光村図書出版」「東京書籍」です。「光村図書出版」は3年生に「確かめようシール」が添付されており、自己評価や相互評価に活用できます。また、随所に二次元コードがあり、毛筆の筆使いなどの動画をみることで、学びが深まるように工夫されています。「東京書籍」は1年間の学習を「書写のかぎ」を集めながら進む旅に見立て、見通しがもてるようになっています。また、学習の流れが明確で、特に、「話し合おう」は他の教科書にはない部分であり、対話を深める意図が見えます。

6 「補充的・発展的学習」です。どの教科書も書写に対する関心を広げ、一層親しむための創意工夫がされています。その中でも特徴的なものは、「光村図書出版」「日本文教出版」です。「光村図書出版」は国語や他教科とのつながりを意識した資料が掲載されており、目次にもつながりがわかるように書かれていて、児童自身がつながりを意識できるよう工夫されています。「日本文教出版」は全学年に、「言葉の窓」と題して、語彙を扱った教材を掲載していて、新学習指導要領にある語彙力に特化した教材となっています。

委員長 他教科とのつながりについて、おしえてください。

書写調査員 「光村図書出版」には、目次のところに国語とか英語と書かれていて、他教科とのつながりが明確にされています。内容としましては、5年生の38ページに英語で書いてみようとして、ローマ字の書き方がでています。3年生でも学習するのですが、なかなか定着しないところなので、これでもう一度習熟できると思います。

C 委員 書写の指導が苦手と感じる先生方への手だてはありますか。

書写調査員 二次元コードは、児童の家庭学習に使えると共に、見本を書くことが難しい先生方にとっても見本を書かなくてもいいという利点があります。「日本文教出版」「教育出版」にもありますが、一番多くあるのは、「光村図書出版」です。すべてのお手本のページの隅についています。

C 委員 それをうつすと動画がうつるといえることですか。

書写調査員 そうです。

【社会】

社会調査員 社会の調査報告をさせていただきます。

「目標・内容の取扱い」についてです。子どもが主体的に学び、調べる技能を身につけたり社会へのかかわり方を考えられるような工夫が、3者ともされています。「つかむ・調べる・まとめる」という流れがどこも基本になっています。また、「学び方コーナー」「学び方ポイント」など、調べ方を確かめられるようになっています。特に、「東京書籍」と「教育出版」では、学習する子供にとっても、指導する先生にとってもわかりやすい工夫がありました。「東京書籍」では、「つかむ・調べる・まとめる」が、学習課題とともに明記されていて、子供も先生も、今どの学習段階にあるかが、わかるように明記されています。「生かす」も設定されていて、単元の最後の学習では、子供が社会へのかかわり方を選択したり、判断することができるよう、提案文を書いたり、自分にできることを考えたりすることができます。書き込みもできるようになっており、社会へのかかわり方が一番具体的に表れており、工夫されていると感じています。「教育出版」は、各ページに「次につなげよう」というコーナーがあり、子どもが次に学習することを自分で考えられるよう工夫されています。また、「選択・判断」の目印があり、自分で考える活動が、一つの単元の中で必ず設置されています。

「人権の取扱い」についてです。3者とも、様々な単元で世界との共生や基本的人権、生命の尊重について配慮された資料や内容が載せられています。資料として、外国の人からの話や、バリアフリーの観点から考える内容、戦争や平和について深く考えられるような証言など、大変工夫されていました。特に、「東京書籍」で特徴的なのは2点あります。まず1点は、4年生の「災害から人々を守る」の単元の最後には、自助・共助の観点から命を守るためにできることを、シミュレーションゲームを通して考えられるよう工夫されています。また5年生では、「寒い土地の暮らし」で、アイヌの人々の文化や暮らしについて考える時間とページがあり、他の教科書には見られない特徴がありました。「教育出版」では、バリアフリーと国際的な観点から、6年生の「暮らしと政治」の単元の導入として、2020年パラリンピック競技の一つである、ウィルチエアーラグビーの選手の活躍を取り上げています。子どもたちにとっても、大変興味深い教材だと思いました。

「内容」についてです。どの出版者も児童の発達段階に応じた文量と表現になるよう記述されています。また、資料も通し番号がついており、本文やキャラクターの発言との関連がわかりやすくなっています。その中でも、「教育出版」と「日本文教出版」は、大変工夫されている部分がありました。「教育出版」は、他の2者と違い、文字の

フォントがユニバーサルデザインのフォントが使われていて、やわらかい印象があります。「日本文教出版」は、各ページのキャラクターの吹き出しに、「！」と「？」が書かれていて、どの発言が気づきで、どの発言が疑問なのかが、すぐにわかるよう工夫されています。

続いて、「組織・配列」についてです。単元配列の項目では、「東京書籍」と「教育出版」は4年生の自然災害の単元では、吹田の地理的な条件から起こりうる可能性が高い地震を、主として学習する流れとなっています。「教育出版」と「日本文教出版」では、4年生の郷土の伝統と地域の先人たちの単元を別々に独立した単元として学習するので、より詳しく内容を学ぶことができます。「東京書籍」では、5・6年生の教科書が2冊に分かれており、見比べて学習をする、児童の荷物の負担軽減を考える意味でも、取り扱いがしやすいと考えます。

次は、単元構成についてです。「東京書籍」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「広げる」という流れで全単元進めていくので、学習計画が立てやすくなっています。また、「東京書籍」と「教育出版」では、各ページに1時間のめあてがわかりやすく提示されています。「教育出版」では、ページの最後に「次につなげよう」が設定されており、次時へのつながりが意識して構成されています。「日本文教出版」では、単元ごとにわかりやすく学習計画が立てられていて、見通しを持って授業が進めやすい工夫が取り入れられています。

次は、ページ構成についてです。「東京書籍」と「教育出版」では、資料や説明を色や形で区別しながら、載せることで、児童が認識や識別がしやすいように、カラーユニバーサルデザインが取り入れられています。「日本文教出版」では、1時間のテーマとなる課題に下線が引かれており、児童が考えるべき内容を把握しやすいつくりとなっています。

続いて「創意工夫」についてです。初めに作業的、体験的な学習についてです。「東京書籍」では、人物やキャラクターの吹き出しを多く活用することによって、児童が1時間で何を学習していくのか見通しが立てやすくなっています。また、全単元を通して「まなび方コーナー」で単元の中で、重要な知識を提示しています。「教育出版」では、単元内の具体的な活動を提示しており、児童が見通しを立てやすいように工夫されています。「日本文教出版」では、「見方・考え方」で、単元で重要な社会的な観点を提示することによって、児童が体験的な活動の見通しを持って、活動しやすくなる工夫が取り入れられています。

次に「問題解決的な学習展開」についてです。「東京書籍」では、学習過程がはっきりと示されているので、「学びのポイント」を毎時間考えていくことで、問題解決学習的な学習展開が組み立てやすく設定されています。また「教育出版」では、「学びのてびき」、「日本文教出版」では、「学び方・調べ方コーナー」で単元の中心となる内容の具体的な調べ方・考え方を示し、児童の疑問を解決する手段として活用できると考えます。

続いて、「補充的な学習・発展的な学習」についてです。3者とも単元に関わりある内容を写真や補足説明でわかりやすく説明しているのですが、その中でも特に「東京書籍」では、説明資料が詳しく、数多く載せられているので、取り扱いがしやすいと考えています。

次に、発展的な学習内容についてです。「教育出版」では、「まとめる」で、児童がどんな事柄をまとめたらいいかをわかりやすく示しています。「日本文教出版」では、単元末に、「奈良時代から現在までの交通の発達」、のように児童が興味・関心を持ちそう

【令和2年度使用教科用図書採択に係る 第2回選定委員会】

な話題の詳しい説明資料が取り上げられています。「東京書籍」では、壁新聞やキャッチフレーズを考える、など、豊富なまとめかた、振り返り方が示され、単元の特色を生かした振り返り方が設定されています。

委員長 日常生活に結びつくような工夫がありますか。

社会調査員 「東京書籍」では、つかむ、しらべる、まとめる、広げる、のように全単元すすめていきますので、学習計画がたてやすくなっています。

D 委員 主権者教育や、多様な見方など、新しく入ってきたことで、各者工夫されていることがあればおしえてください。

社会調査員 各者大きな違いはなく、写真、資料などの違いにとどまっています。また、「東京書籍」では特に地震をとりあげて、「教育出版」でいうと災害とか、吹田市で起こりうる水害などについても「東京書籍」はとりあげていて、自助の観点が取り入れられています。

C 委員 合本にしている上で、特徴的なことは。

社会調査員 歴史で学習していることが公民に関わったり、公民で学習していることが歴史に関わったりなど、1冊で、前回学習したこと、今学習していること、これから学習すること、を見ることができるという利点があります。

【地図】

地図調査員 まず「目標・内容の取扱い」についてです。どちらも日本全体図・地域地図・世界全体図・地域地図・地球儀のページなど、社会科学習で使用する基本的な地図が掲載されており、後半の地図資料にも3～6年の社会科学習で活用できる、様々な資料が掲載されています。特に「帝国書院」においては、P47～48に京阪神地域の拡大地図が見開きで取り上げられていることが大きな特徴です。

続きまして、「人権の取扱い」です。「東京書籍」の地図ページには、沖縄の戦跡・軍用地、広島原爆ドームなどの情報が示されており、ひめゆりの塔の写真や、近年の自然災害の写真などが掲載されており、「帝国書院」にも「東京書籍」と同様に、原爆の被害地図が掲載されており、命や平和を守る大切さについて考えることができるように構成されています。また、どちらの出版者も色覚特性への配慮として、色だけの区別ではなく、形でも区別できるように配慮され、また「帝国書院」では、地図の色分けに加えて、模様が入っており、その模様で区別できるようになっています。

「内容の程度」についてですが、「東京書籍」は、P20～22にある折り込みの日本全図により、全体を見開きで見渡せるようになっています。「帝国書院」のP19～28には、「広く見渡す地図」のページがあ

り、各都道府県の名所や名産などが示された、大まかな地図があり、どちらも地図に慣れていない3年生や支援の必要な児童にとっても必要な情報がとらえやすく、また児童が興味関心を持つことができるよう、構成されています。

続いて「組織・配列」についてです。地図は両出版者ともに全体から部分へという構成になっており、資料ページは3・4・5・6年生の社会科学学習に関連した資料が掲載されています。「東京書籍」は全体を通して写真資料が多く、児童が興味関心を持つように配慮されています。「帝国書院」は全体を通して地図資料が多く、関連する社会事象について深く考えることができるよう配慮されています。

「創意工夫」についてです。「東京書籍」は、地図のでき方について、7～14ページに渡り、絵地図を見開きで掲載しており、丁寧に進めることができます。「帝国書院」には、学びを深めるための様々な課題を示した、「地図マスター」があります。20ページをごらんください。地図帳に「地図マスター」の欄が設けられており、具体的に地図帳を使用して調べることができるよう工夫されています。

最後に「補充的な学習 発展的な学習」です。「東京書籍」は、75ページの資料ページには、日本の歴史地図と共に、世界史の地図が示されており、日本の歴史と共に、世界の歴史を調べることができるよう配慮されています。「帝国書院」は、9、14ページの「地図のやくそく」のページに、地図に関する知識技能の基本的な内容である「方位」「地図記号」「縮尺」などについて大きく取り上げ、「トライ！」で学んだことを確認しながら学習することができるよう配慮されています。

F 委員 領土の問題について、各者どのように記載されていますか。

地図調査員 「東京書籍」は15・16ページ、「帝国書院」は29・30ページに領土のことが載っています。どちらの出版者も適切に取り扱っていると判断できます。

E 委員 他教科との関連について、どういった工夫がなされていますか。

地図調査員 「東京書籍」では、64ページに、世界地図での世界の食べ物をとりあげて、総合的な学習の国際理解教育に活用できます。また、国名の下に英語表記があり、外国語活動でも活用できます。「帝国書院」の方は、1ページから3ページの見開きのところに国名の英語表記があることや、主な国の挨拶をとりあげ、外国語活動で活用ができます。81ページでは、世界で有名な音楽の舞台や物語の舞台が示され、音楽や国語で活用できます。

【算数】

算数調査員 1「目標・内容の取り扱い」です。新学習指導要領で重視されている、主体的・対話的で深い学びや、数学的な見方・考え方について、主に調査

をしました。特に「東京書籍」「学校図書」「教育出版」に特徴がみられました。「東京書籍」は、数学的な見方・考え方の箇所にマークがついており、子供にとって、わかりやすく、見やすいものになっています。「学校図書」においては、教科書の冒頭で、3つの学びの力、思考力・判断力・表現力について、子供にわかるような形で説明がされています。「教育出版」は、数学的な考え方を引き出すヒントとなることばを、吹き出しを使って、子供の言葉で提示しています。

続いて「人権の取り扱い」についてです。男女共生の観点、外国の取り扱いユニバーサルデザイン等について調査をいたしました。全発行者とも表現などに問題はなく、登場するキャラクターの男女比のバランスもとれており、人権に配慮されています。特に「大日本図書」「学校図書」「啓林館」に特徴が見られました。「大日本図書」では、従来野球を取り扱うことが多かったのですが、割合のところでソフトボールの打率を扱い、女性アスリートを登場させています。「学校図書」では、巻末の索引の算数用語に、英語が併記されています。「啓林館」では、色覚への配慮から、色だけで区別するのではなく、文字情報も添えられています。

次に「内容の程度」についてです。単元の始まりと終わり、あるいは問題の難しさについて調査をしました。全発行者とも、無理のない問題で、適度な難易度となっています。特に「大日本図書」「教育出版」「日本文教出版」に特徴が見られました。「大日本図書」では、はじめて10を超えた数を学習する児童への説明が丁寧で、大変わかりやすいものになっています。「教育出版」は、単元のはじめに、見開き2ページを使って、対話が広がるようになっています。「日本文教出版」は、単元の終わりに「わかっているかな」「まちがいやすい問題」「確かめポイント」の3つがあって、知識・技能の定着を図る仕組みとなっています。

続きまして、「組織・配列」についてです。単元の順番について、児童の発達段階を考慮したものになっているのかについて調べました。編集方針によって、特徴のあらわれたものもありました。特に、「東京書籍」「学校図書」「啓林館」に特徴があります。「東京書籍」は、3年生で「小数→分数→重さ」の順に配列されているので、重さの表現のなかに、小数が使えるよさがあります。「学校図書」はつまづきやすい問題として、5年生の割合、単位量当たりの重さをそれぞれ2つに分けて、4つの単元とし、年間を通して、定着を図り、忘れた頃に再学習ができる仕組みになっています。「啓林館」は、5年の面積で、三角形の求積をしてから平行四辺形の求積をする配列になっており、ここは他者と違う順番になっております。

続いて、「組織・配列」についてです。児童の学習活動をよりよくする工夫が見られるか、全体の構成について見ていきました。全発行者に工夫が見られましたが、特に「学校図書」「教育出版」「日本文教出版」に特徴が見られました。「学校図書」は、他の発行者に比べて横長で、見やすいサイズになっています。「教育出版」は、線分図にマス目が書かれていて、児童にとって、書きやすいもの、見やすいものとなっています。「日本文教出版」は上下にわかれているので、1年生の児童にとって、持ち運びがしやすいものとなっています。

「補充的な学習・発展的な学習」についてです。巻末のページで補充学習や発展学習がどのように扱われているか、あるいは中学校数学へのつながりはどうなっているかと

いったことを中心に見ていきました。特に「東京書籍」「学校図書」「日本文教出版」に特徴が見られました。「東京書籍」は補充の問題が、2段階で構成されているので、習熟度に応じて取り組みやすくなっています。「学校図書」は、中学校へのかけはし、という別冊があって、6年間で獲得してきた、見方・考え方を振り返るとともに、中学校での内容の一部に触れることができるようになっていきます。「日本文教出版」では、「算数マイトライ」というページがあって、3段階の難易度にわかれた補充問題があり、習熟度に応じて取り組みやすいと考えました。

委員長 プログラミングの各者の取り扱いはどのようになっていますか。

算数調査員 各者ともとりあげています。特徴的なのは「東京書籍」「学校図書」「啓林館」ですが、パソコンを使った学習、机上での学習、どちらでもできるように編集されています。どの発行者も複数学年で扱っています。

E 委員 つまづきやすい箇所の理解を促すような工夫はありますか。

算数調査員 発行者により違いがあり、ある一時期にまとめて学習をするという発行者と、小さな単元に分割し、何回か繰り返して学習ができるようにとしている発行者があります。わかれている発行者のものについては、前の学年からなだらかに次の学年の難しい単元につなげていくという工夫がされています。

E 委員 それはどこの発行者ですか。

算数調査員 「学校図書」です。

D 委員 児童が自分でやってみようという、補充問題等について特徴のあるところはありますか。

算数調査員 補充問題については、各発行者とも用意されていて、過重にならない程度になっていました。

D 委員 自分で学習をすすめられる工夫はありますか。

算数調査員 各者とも工夫があり、解答もついているので、自学自習もできますし本編とも、リンクができるような編集がなされていました。

【理科】

理科調査員 理科についての、調査結果をご報告いたします。項目1 「目標・内容の取扱い」では、どの教科書も、適切な内容が取りあげられており、学習の流れがわかるような工夫がされています。中でも、「学校図書」は巻頭の「科学の目を育てよう」で、「問題→観察・実験→わかったこと」の問題解決の流れが、流れのバーで示されています。また、学習の場面に、単元ごとで身につけたい資質・能力が明示されています。「教育出版」

は、巻頭の「学習の進め方」で、「問題→観察・実験→結論」の流れが7つのステップで示されています。また、イラストで児童が見方・考え方を働かせながら学ぶ姿が示されており、考えのヒントにもなります。「啓林館」は、巻頭に、問題解決に向けた流れが示されており、「問題→観察・実験→まとめ」の流れがフラッグとラインでつながれています。単元導入での「はじめに考えてみよう」と単元末の「もう一度考えてみよう」により、学びを深めることができるように工夫されています。

項目2 「人権の取扱い」では、各者、人権尊重についての配慮がされています。なかでも、「大日本図書」は、事故のおそれのあるところに「注意」マークやイラストで示しており、理由も示して、注意点を認識させる配慮がされています。「教育出版」は自分の住んでいる地域で、防災や減災について調べるように促し、自分のこととして捉えられるよう工夫されています。

項目3 「内容の程度」では、各者、観察・実験などの基本的な技能、問題解決の力、主体的に問題解決しようとする態度を養う工夫がされています。その中でも、「東京書籍」は「レベルアップ理科の力」を、各学年の育成を目指す問題解決の場面に設定し、学習のポイントを明確に示しています。「学校図書」は「話し合い」で、多くの異なる意見から自分の考えを深めたり、フローチャートを使い、違う視点で考えたり表現したりする場面を設けています。「教育出版」は、各学年で、学習のポイントを明確に示して、目指す問題解決の力を育成する工夫がされています。

項目4 「組織・配列」では、構成と各内容の配列や他教科との関連づけ、写真、挿絵、図表などの配列に、各者配慮されています。なかでも、「大日本図書」は、発達段階に応じて問題解決の力がつけられる活動を取り上げ、考察したり、活用して考えたり説明したりする活動が、学年に即して行われるよう工夫されています。「教育出版」は、学習の系統を「学習のつながり」で示したり、活用したい既習内容を「思い出そう」で示したりすることで、系統的に学習を進められるように工夫されています。「啓林館」は、「他教科マーク」で他教科との関連を意識させ、「これまでの学習をつなげよう」で複数の単元で学習したことを関連づけて考えられるように工夫されています。

項目5 「創意工夫」では、実社会との関連やものづくりの充実、主体的に学べる工夫が、各者されていました。その中でも、「東京書籍」はA4判を採用し、単元導入の資料写真など、児童の気付き、疑問を引き出す関連資料を充実させています。「大日本図書」は単元ごと、各所に資料が掲載されており、科学技術と人との関わりを示すと共に、主体的に学ぶことができる工夫がされています。「啓林館」は「理科の広場」や「つなげよう」で、社会や日常生活との関連付けや職業とのつながりを意識できるようになっています。単元末の「活用しよう」で、学んだことを生活に応用する力を養うよう工夫されています。

項目6 「補充的な学習・発展的な学習」では、基礎・基本の定着のための工夫、興味・関心に応じた、自ら学ぶための工夫が各者されており、その中でも、「東京書籍」は単元末の「たしかめよう」で、「自己チェックマーク」を設けて理解度を確かめ、巻末に、ノートのとめ方や、算数科とのつながり、器具の使い方などが、まとめられており、基礎・基本の定着を図る工夫がされています。「学校図書」は単元末の「まとめよう」で、学習内容を振り返り、活用問題で、考えて説明する構成になっています。また、巻末に話し合い方や、記録の仕方、器具の使い方コーナーなどがまとめられています。「啓林館」は単元末の「ふり返ろう まとめノート」で学習内容を振り返り、「たしかめよう」で定着を図ることができる構成になっています。また、巻末資料で、ノートのとめ方や算数科とのつながり、器具の使い方などがまとめられており、基礎・基

本の定着を図る工夫がされています。

委員長 観察や実験が間違いなく、わかりやすいのはどの出版者ですか。

理科調査員 学習の流れがわかるという意味では、「大日本図書」「学校図書」「啓林館」は学習の流れを確認することが巻頭に記載されており、わかりやすくなっています。「啓林館」は問題からまとめまでの小見出しが、フラッグとして、見出しとラインでつながり、手順についても間違いなく進められるようになっています。

委員長 写真を見て、わかりやすい教科書はありますか。

理科調査員 「大日本図書」で扱われている写真は、比較的大きく、見やすくなっています。「教育出版」では、写真やイラストが適切な大きさに掲載されています。

E 委員 実生活にいかにつなげられるか、工夫のある発行者はありますか。

理科調査員 3者あります。「東京書籍」では、「学びをいかして深めよう」、発展問題「理科の広場」が掲載されています。「大日本図書」では理科の玉手箱、「啓林館」は、「活用しよう」「つなげよう」や資料で紹介されており、身近なものに感じやすい構成になっています。

D 委員 プログラミングを取り入れる工夫のある教科書はありますか。

理科調査員 各者、プログラミング的な考え方、フロー図などを使って表現していますが、その中でも、「学校図書」がフローチャートを多く、掲載しています。各者6年生の発電機利用のところで、取り入れられています。「啓林館」は、シートとシールを使って作業ができるようにしています。

C 委員 二次元コードの工夫がされているところはありますか。

理科調査員 「啓林館」に単元の最初にQRコードがあり、そこからリンク先にとぶようになっています。

【生活】

生活調査員 生活科の調査結果について報告いたします。項目別に、各者がどのような配慮や工夫をしているかについてお伝えいたします。まず、「目標と内容の取扱い」についてです。生活科の目標のポイントである「自分と身近な人々や社会及び自然とのかかわりに関心をもつ。自分自身や自分の生活について考える。生活上必要な習慣や技能を身に付けさせる。」という点について、各者とも、その目標や取り扱う内容について、十分吟味されておりました。特に、「啓林館」では、「夏となかよし」「秋となかよし」等の季節の単元において、自然との関わりに関心が持てるよう、季節の様子やその季節の特色を生かした遊びを考える設定になっており、その遊びも、比べたり試してみたりすることによって、自分たちで遊びが工夫できるよう配慮されています。また、「まとめよう・つたえよう」の「思考・

表現」をさせる場面では、XチャートやYチャートといった思考ツールを掲載し、子どもたちの気づきを可視化し、より深い学びとなるようにしています。「東京書籍」では、観察カードを初めて描くことになるアサガオの観察カードの例示において、観察上の大事な視点や書き方のポイント等が大きく詳しく描かれており、他の単元でも、ワークシートの例がページ右下に提示され、児童が参考にしやすいよう工夫されています。また、安全で適切な活動や観察ができるように、見開き右上に「やくそく」の欄があり、活動を行う際の注意、防災を含む安全について、クラスで話し合いができるように配慮されています。「学校図書」では、町探検の単元において、2段階の活動が考えられていました。「すてきなものや場所」を見つける活動と、その上で第二段階として、「働く人」とのコミュニケーションをとる活動の両面から地域の良さを感じ取れるよう配慮されています。2年生の自分の成長を振り返る単元「わたし探検」では、「自分で振り返る」「友達に聞く」「大人に聞く」の段階を踏むことで、自分のとらえ方を広げていけるように配慮されています。

次に、「人権の取扱い」についてです。自分たちの身の回りの人や家族の取り上げ方を中心に、人権的な配慮がされているかどうかを調べましたが、各者とも十分配慮されていました。「日本文教出版」では、学校・地域での生活の様子を示すイラストや写真において、いろいろな児童やいろいろな立場の人が活動している場面を載せており、その違いに気付くことで互いの理解へと結びつくよう配慮されています。町の中における点字や標識、手話なども巻末にまとめられており、地域の障がいをもつ方との関わりについても考えられるように配慮されています。「光村図書出版」では、家族に関する単元である、上巻「みんなのこにこ大作戦」や下巻「広がれわたし」において、家族構成の違いに影響されることなく学習が進められるように配慮されています。また、「光村図書出版」は色覚特性のある児童も含め、文字や絵が判別しやすいように配色に留意しています。「大日本図書」では、家族に関する単元において、多様な家族構成の写真を使用し、男女の役割分担に偏りが無いよう配慮されています。巻末の「学習道具箱」では、車いす利用者のバス乗車の様子、また、世界の言語や文化が掲載されており、さまざまな立場の方の理解に配慮しています。

3 「内容の程度」です。各者とも、小学校に入りたての児童に対しては、スタートカリキュラムの単元を設けることで、小学校生活にどの児童もスムーズになれることができるよう配慮しています。また、多様な写真やデジタルコンテンツ、道具の使い方や、おもちゃの作り方などをたくさん掲載することで、経験が乏しい児童も取り組みやすいうようになっていました。「教育出版」は、スタートカリキュラムのところで、絵本を使うことで、子供たちが幼稚園の活動を思い出しながら、小学校生活を送ることができるようになっています。生き物を探そうのところで、生き物の育て方を、飼い方も含めて、詳しくのせていることで、いろいろな経験が乏しい子供たちも、虫が飼いやすいうになっています。「啓林館」は、スタートブックのところで、幼稚園時代の写真とか、遊びの写真をたくさん掲載しており、幼稚園と小学校のつながりを、子供たちが感じられるようになっています。また、紙面のいろいろなところに、QRコンテンツが掲載されていて、学習内容と対応する教育情報を、端末で閲覧できるようになっています。

最後の学習図鑑のページのところにも、道具の使い方、生き物の育て方がたくさんあって、経験の乏しい子にも助けになると思われます。「東京書籍」ですが、スタートカリキュラムのところで、たくさんの幼稚園時代の写真をのせていて、学校生活への興味・関心が高められるように配慮されています。上下巻ともに、おもちゃ図鑑がのせられていて、幼稚園時代、おもちゃをつくったことがない子にも、これを活用して、活動しやすいものとなっています。

4「組織・配列」です。各者とも、季節の単元では四季の変化が分かりやすいような工夫がしてあり、自然とのかかわりに配慮した単元構成となっています。また、学習過程を3段階や4段階構成などにするすることで、児童が活動や単元の流れを把握しやすいようになっています。「啓林館」は、単元導入であるわくわく、主な活動であるいきいき、表現活動であるぐんぐん、という3段階構成にしてあり、このようなプロセスを通して単元が終わることが明確にされています。また、季節の単元のところで、季節だよりというものをのせて、季節がしっかりと感じられるような写真があります。「学校図書」は各単元を、導入はドキドキ、活動いきいき、表現・表現コロコロ、ふりかえりニコニコ、という4段階構成で学習過程を明確にしていました。そして、季節の変化を、ページをずらして、だんだん季節を経たら、大きくなるようになっており、わかりやすく示されています。「光村図書」は、思いや見通しを持つホップ、活動し考えるステップふりかえるジャンプという、3段階の学習過程をつくっています。季節の変化も上巻に4ページ分の見開きで、季節の変化を、大きな写真でわかりやすく示しています。

創意工夫では、各者、児童が意欲をもってとりくめるように工夫されています。「教育出版」では、「満足はしご」により、はしごにのぼっているキャラクターと、自分の思いが上か下かを比べることにより、自己評価をして、意欲や自信につながる工夫をしています。また「啓林館」では、単元の導入において、わくわくの扉と題し、子どもたちの経験や体験を大切に、日常生活から生活科がはじまるように工夫されています。また、「～したい」という願いを高める「わくわくボックス」が設定されており、次の活動に効果的に進めるように工夫されています。「東京書籍」では、上巻末に「ポケットずかん」、下巻巻末に「べんりてちょう」があり、学習の質を高め、必要な習慣や技能を話し合うための資料が充実しています。

補充的な学習では、3年生の理科や社会の学習につながるように配慮されています。「日本文教出版」では、社会科とのつながりとしては、地域のセンターや児童館、デイサービスセンターなど、公共施設を取り上げ、地域のつながりを意識しています。理科とのつながりでは、「あそびめいじんになろう」の単元では、工夫している活動が、詳しく展開されており、試行錯誤を繰り返しながら活動を展開し、科学的思考が高められるように工夫されています。また「学校図書」では、社会科のつながりとしては、町探検で、大型の校区地図を活用して探検をし、消防の仕事や農家の仕事も取り扱っています。理科とのつながりとしては、おもちゃ作りを動くおもちゃに限定して作り、ゴム・おもり・空気などの動力の種類からどのようなものづくりだせるか、どのように工夫すれば、動力の大きさが変化するか考えさせています。「大日本図書」では、春の町探検の前に「学校までの道カード」を書かせ、それを貼り合わせることで、校区地図へと発展させ、社会につながっています。校区地図の作り方も下巻末の「がくしゅうどうぐばこ」に掲載しています。理科とのつながりとしては、おもちゃ作りでゴム・空気・音を利用するものを中心に据え、その工夫による動きや音の変化を感じ取らせています。

委員長 主体的・対話的で深い学び工夫ある教科書はありますか。

生活調査員 「啓林館」はXチャート、Yチャートを使って話し合い、分類をしていくことで、気が付いたことをさらに深めていくことができると考えられます。観察を通しての深い気づきということで、「東京書籍」の「観察カード」の書き方、「学校図書」の観察カードを大きくみせてポイントをしるすことで、意識して観察を行うことができるので、深い気づきに結びつき

と考えられます。

副委員長 子供たちの安全を工夫して扱っているものはありますか。

生活調査員 「光村図書出版」では、注意事項がそれぞれの单元ごとに「！」で示され、最後の広がる生活図鑑のところに、わかりやすくのっています。「大日本図書」では、上巻末で、「がくしゅうどうぐぼこ」で、2ページにわたって不審者に対する対応のページがあり、「日本文教出版」では、活動ごとに安全面の注意があり、安全やマナーについて気づくことができるようになっています。

委員長 QRコードは「啓林館」だけですか。

生活調査員 「東京書籍」「学校図書」にもあります。

【保健】

保健調査員 6者について、調査したことを報告させていただきます。まず各者ごとの良さから紹介させていただきます。「東京書籍」です。ステップ1234と細かく学習の進め方を明示して、学習の見通しがつきやすい構成となっています。書き込みをする上で、書きやすい紙質です。「つなげよう」のコーナーでは、他教科との関連が見られます。中学年48ページに他教科との関連性がのっています。特別支援教育の視点を大切に、図や写真、文字の色・大きさなど、見やすく編集されています。字数が精査されて、情報が入ってきやすい構成となっています。続いて、吹き出しの言葉が簡潔で、字数が整理されて分かりやすくなっています。デジタル教材がついていて、資料を活用することが可能となっています。

「大日本図書」です。他者と異なり、ひとまわり小さいサイズになっています。情報量を最小限に抑え、見やすく、情報が入ってきやすい紙面構成となっています。デジタル教材を活用して学習できるようになっています。3年生と4年生の学習では、シールを活用しての学習が可能になっています。細かい資料が掲載されていて、写真やグラフが掲載されていて、それぞれの学習に応じたものとなっています。

「文教社」です。3・4年生の方では、性教育について、詳しくのっています。24ページから、27ページの4ページの扱いとなっており、女子のことだけではなく、男子のことも掲載されています。熱中症についてフローチャートで説明されていて、わかりやすくなっています。安全についても、詳しくのっています。5年生と6年生のページでは、津波、災害の天災、22ページには、人災、犯罪が起こりそうな場所ということで、細かく書いてあります。

「光文書院」です。3・4年生の第二次性徴のところで、性的マイノリティーについて表記があり、スマートフォンの利用についても載っていたり、最先端の題材が扱われています。学習の見通しを立てやすくさせるために、6コマ・4コマ漫画で解説し、興味・関心を高める工夫もされています。知っておくためのなる豆知識のコーナーを設けて、情報としても、見やすいものになっています。

「学研教育みらい」です。書き込み欄を小さくすることで、情報量を増やしています。説明のバランスがよく、情報が入ってきやすい構成となっている。

続いて項目ごとです。1「目標・内容の取り扱い」ですが、各者どこも吟味されていて内容がわかりやすいものとなっています。「文教社」は、「新しい自分にレベルアップ」のコーナーで、ふりかえるコーナーを設けて工夫されています。

2「人権の取り扱い」ですが、「文教社」は、性教育を深く取り扱っています。「光文書院」はパラリンピックを取り扱っていて、障がいについても配慮がされています。

3「内容の程度」ですが、情報量の見やすさで言うと、「東京書籍」「大日本図書」「学研教育みらい」です。「光文書院」は、漫画を使って、興味・関心を引く内容となっています。

4「組織と配列」ですが、「東京書籍」と「大日本図書」は、学習の進め方を細かく、見やすく書いています。

5「創意工夫」ですが、「東京書籍」の課題発見のところでステップアップしていくところは工夫されていて、学習がわかりやすくすすめられます。「大日本図書」「光文書院」の資料が多いところもわかりやすくなっています。

6「補充的な学習」ですが、「大日本図書」は、他者にはない、学年のまとめのコーナーがあります。

E 委員 主体的・対話的・深い学びにつながる工夫のあるものはありますか。

保健調査員 「東京書籍」44ページ、けがのコーナーで、自分で考えて、やってみる、実習する方法がのっています。

D 委員 最近の話題について、特徴的に取り入れているところはありますか。

保健調査員 「光文書院」はがんについて多くとりいれています。「学研教育みらい」は自分を振り返ってということで、心の健康をとりいれています。

【音楽】

音楽調査員 ただ今から、令和2年度使用教科用図書（小学校用）種目 音楽の調査結果について、調査報告書を添えてご報告いたします。

項目①「目標・内容の取扱い」についてです。どちらの発行者ともに、題材が6年間を通して系統的・段階的に設定されており、主体的・対話的で深い学びを導き出すように取り扱われています。その中でも特徴的なのが、「教育芸術社」は、題材や教材のねらいが児童にもわかりやすいように記載されており、見通しをもって主体的に取り組めるようになっていると感じました。

項目②「人権の取扱い」については、どちらの発行者ともに、人権を尊重する観点から適切に取り扱われています。「教育芸術社」は、選曲や歌詞など、児童が互いに認め合いながら学習できるように配慮されています。「教育出版」は、震災復興に関わる教材など他者を思いやる心を育てる内容に工夫がされています。

項目③「内容の程度」については、どちらの発行者も児童の心身の発達段階に応じた歌唱・器楽・鑑賞の教材が取り扱われ、6年間を通して音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養うように取り扱われています。特に「教育芸術社」は、共通事項が各ページ

の教材のねらいや活動文の中で繰り返し示され、自ら問題意識をもって学習に取り組めるように工夫されています。

項目④「組織・配列」については、どちらの発行者も低・中・高を見通して、表現及び鑑賞の活動をくりかえしながら組織的・継続的に学習を進められるように取り扱われています。「教育芸術社」は、巻末に振り返りのページが記載されており、その学年の内容が整理され、基礎基本が適宜振り返り学習できるようになっています。「教育出版」も、巻末に「音楽のもと」まとめのページがあり、振り返り学習ができるようになっています。

項目⑤「創意工夫」では、どちらの発行者も美しい写真や親しみやすいイラストを使い音楽活動に対する興味・関心・意欲を高め、生活に生かそうとする態度・習慣を育てるための工夫がされています。特に特徴的なのは、「教育芸術社」では、QRコードがついている楽曲がありICTの活用につながるよう工夫されています。

項目⑥の「補充的な学習・発展的な学習」については、どちらの発行者ともに児童の実態に合わせて、基礎基本を確実に身に付け、さらに音楽を深めたり広げたりできるように取り扱われています。「教育芸術社」は、発展的な学習を3年生以上でステップアップとして取り上げて児童の習熟度に合わせて広げられるように取り扱われています。「教育出版」は、4年生以上で発展と明示されています。以上、調査結果についてのご報告を終わらせていただきます。

委員長 QRコードによって、動画が見られるということですか。

音楽調査員 そうです。ICTを活用した学習ができます。

委員長 「教育芸術社」にはそれがついているということですか。

音楽調査員 はい。子供たちの視覚的な支援にもつながると考えています。

C 委員 和楽器の取り扱いについて、特徴的な出版者があればおしえてください。

音楽調査員 伝統音楽について、どの学年も、段階をおって、学習ができるようになっています。写真を使ったり、楽器の構え方など、詳しくのっており、子供たちにわかりやすい形になっています。

E 委員 教育出版は、まなびリンクがあるのですが。

音楽調査員 「教育芸術社」は單元ごとにあるということが違っております。

D 委員 主体的な学び、自分で旋律をつくったりするような取組についてはどうですか。

音楽調査員 どちらの発行者も音楽づくりのことはのっていますが、「教育芸術社」は歌唱や器楽とあわせて総合的に、となっています。「教育出版」の方は歌唱との関連がないところもあります。

【図工】

図工調査員

1の「目標・内容の取り扱い」ですが、「開隆堂」は写真が非常に大きく、どんな作品なのか、というのがわかりやすくなっています。「日本文教出版」は、写真もたくさんあるんですが、吹き出し、また、作品の工夫されていることとか、作品のポイントが示されていることで、作品について詳しく作られています。続いて、新学習指導要領では、資質・能力が3つの柱となっていますが、3つの柱に応じて、どの題材でも学習のめあてとして、3つ、どの題材にも掲載されています。用具の使い方について、両者丁寧に説明されていますが、特に「日本文教出版」では、図工の苦手な教員でもわかりやすく、水彩絵の具の使い方や、電動のこぎりについては、上巻がすべて記載されていて使いやすくなっています。

2 「人権の取り扱い」について、両者ともに適切に取り扱われていますが、「日本文教出版」では、写真の中の子供が、「人種の異なる子供」「車いすにのった子供」の写真が掲載されていて、人権に配慮されています。「開隆堂」は、色覚に特性のある子ども作品がわかりやすいように配慮がされています。

3 「内容の程度」です。材料ごとに造形遊びをする内容になっているかについては、どちらもいろいろな題材が使われていて、造形を楽しむ活動がのせられています。表したいことを、絵や立体、工作に表す内容になっているか、については、「日本文教出版」の方がバランスよく、入っていました。絵が44、立体が26、工作が30で、「開隆堂」の方が、絵が50、立体が13、工作が41です。鑑賞については、各教科4ページ扱いの鑑賞の題材になっていて、「開隆堂」は「みんなのギャラリー」で日本各地の伝統と文化にふれ、その良さを十分に味わうことができるようになっており「日本文教出版」では、「教科書美術館」ということで、造形的な見方や考え方を深められるような、身の回りのものから、美術作品まで幅広く掲載されています。

共通事項についてですが、「開隆堂」の方は、児童が対象の形や色、材質などの特徴をとらえ、それぞれの発想で自由に表現する様子が紹介されていて、形と色でショートチャレンジというように、短時間扱いのページが設けられています。「日本文教出版」は、キャラクター（ちろたん）が設定されていて、子供が親しみやすくなっています。キャラクターが児童の見つけた形や色などについて認めたり、気づきを促す行為を提案したりする言葉を投げかけたりすることで、知識として定着するよう配慮されています。

4 「組織・配列」です。弾力的な扱いについて、適切に配慮されているかについては、どちらもそれぞれの学年が上下巻になっており、弾力的に使いやすくなっています。幼稚園や中学校との関連については、「日本文教出版」は、幼児期の活動を振り返るページを設けていて、題材も粘土や色水、スタンプ遊びなど幼児期の学びから繋がるものを取り上げているので、うまく関連づけられています。

5 「創意工夫」についてです。美術の役割については、「開隆堂」では、5、6年生で図画工作の学習が、様々な世界でいきていることを知るページがあります。「日本文教出版」では、作品を生活の中で利用する様子や、地域との交流を通して、生活や社会と豊かにかかわる態度を育めるようになっており、全学年の学習活動を通して、感じたり考えたりしてほしいことが、吹き出しで例示してあります。鑑賞資料については、「開隆堂」では、自分の思いを語ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりする活動ができるよう配慮されています。「日本文教出版」では、鑑賞教材以外でも、友達の活動や作品を見合ったり、話し合ったりする活動が、写真や吹き出しで示されており、また、各学年に鑑賞題材が設定され、鑑賞活動を通して自分の思いを語り合ったり、自分の価値意識を持つ

て批評し合ったりする指導ができるように、配慮されています。編集上の工夫については、「開隆堂」は、最初の見開きの1年間の学習の見通しが、写真でわかりやすくのせられています。また、児童の表情や作業工程がよくわかるものになっています。「日本文教出版」では巻頭で、身の回りのものや美術作品を紹介し能動的な鑑賞活動や言語活動ができるよう工夫されています。デジタルコンテンツで用具の使い方や技法動画を見ることができ、材料、用具の使い方が大判で掲示できるものもついています。またアートカードもあり、多様な鑑賞活動ができるように工夫されています。

6「補充的な学習・発展的な学習」についてです。「開隆堂」は、あわせて学ぼうマークとともに、国語、理科、道徳、英語などの教科名を示し、教科横断的な学習ができるようになっています。「日本文教出版」は活動を通して感じたことを話しあう中で、学びを次の学習や活動の中に生かそうとする気持ちを育むことができるよう工夫されています。また、他教科、伝統文化、環境問題、著作権やインターネット、平和や防災の観点をもった作品も紹介されており、発展的な学習を意識した内容になっています。

委員長 アートカードはどのようなものですか。

図工調査員 文字のカードと絵のカードがついています。

F 委員 子供たちが興味・関心を持つような工夫はありますか。

図工調査員 どちらも、写真を多くしたり、作品を多数掲載して、工夫しています。特に「日本文教出版」では、子供たちの会話をのせていて、図工が苦手でも、その視点をみて参考になるように工夫されています。

【家庭】

家庭調査員 令和2年度使用教科用図書 小学校家庭科の採択に係る調査結果についてご報告いたします。「東京書籍」と「開隆堂」の発行者2者の見本本について、調査検討を行いました。いずれも学習指導要領に準拠した目標及び内容構成となっており、児童の主体的・対話的で深い学びにつながる活動を取り入れ、実践的・体験的に楽しく学びながら、自身の家庭生活をよりよいものに改善しようとする、意識醸成を図るものとなっております。「東京書籍」では、座学になりがちなところにも、実践的・体験的な活動を促すような設定が具体的に示され、児童の思考力・判断力・表現力を育むよう配慮されており、さらに生活の基盤となる家族や家庭生活との結びつきや、学習した知識・技能を生活の中で生かす視点、家族の一員として果たす役割を示唆する内容となっております。

「開隆堂」は、基礎的・基本的な知識や技能に関する内容を厳選し、的確に記載され、簡単なものから難しいものへと、確実に習得できるような工夫がされています。

「人権の取り扱い」については、両者ともに細やかな配慮がなされていますが、「東京書籍」では、実習を重視し、左利きの包丁の使い方が巻末ページにとどまらず、折に触れ取り扱われています。「開隆堂」は、世界の地域や日本の伝統文化、郷土、地域などについて具体的な活動例が挙げられ、巻末等にも写真を多く掲載し、多文化理解につなげております。

「東京書籍」の特徴としては「創意工夫」があげられます。包丁や裁ちばさみなどの使い方、運針など、実物大の写真と解説で示され、教科書に直接手を置いて指導できること

から、児童にわかりやすいものとなっております。さらに、A4版で作成されていることで、「紙面が大きく、全体的に写真や図が見やすい」「ゆでる・いためるの写真が効果的である」「意欲を高められるように、写真やイラストが添付されている」「縫い方の細かいところまで提示している」等、学習内容がわかりやすくなっております。また、教科書に書き込むことのできるワークシートが盛り込まれ、教科書だけで学習を進めることができます。「組織・配列」でも工夫が見られます。「いつもたしかめよう」では、5学年で学んだ技能を6学年でも生かすとともに、定着を図るようになっております。「消費生活・環境」の学習を5学年の早い段階で取り組めるようになっており、家庭科全体に必要な視点として有効なものとなっております。夏のくらしと冬のくらしが同じ学年、5学年で取り扱われており、1年という学習の流れに沿った指導ができるようになっております。さらに5学年と6学年の間に、5学年で学習したことの「ふりかえり」があり、一つの区切りとして切り替えやすく、2年間を通して学習を進めることができます。また活動例や実習例を豊富に提示することで、地域や学校の実態に応じて指導することができます。

「開隆堂」の特徴としては、実習手順などの写真や図の配列が、児童の視線の流れを考慮し、見開きページを使い一面で見ることができるようになっております。文章量が少なく、一つひとつの手順をコンパクトに要点を絞って示しております。

また、「補足的な学習・発展学習」として、「生活の中のプログラミング」の特集で、日常生活の中で目にする電化製品などからプログラミング教育につなげていくよう取り扱われております。両社ともQRコードが活用でき、「児童が家で学ぶ」「授業ですぐに映像が見られる」「視覚的な効果がある」「興味関心が高まる」など、効果的に活用できます。特に、「開隆堂」は、多くのページにQRコードが示され、学習状況に応じて活用ができるようになっております。以上で、家庭科の調査検討についてのご報告を終わります。

C 委員 他の教科とリンクしている部分で、特徴的なことはありますか。

家庭調査員 「東京書籍」では、ページ数を表示している箇所に、まず教科書内でのリンクするページがのっております。また、家庭科でよく使う、実習で使うものであったり、家庭科独特の言葉が、英語、日本語で記載されております。同様に「開隆堂」でも、家庭科ならではの言葉について、英語とリンクするようになっています。

E 委員 実生活に生かせるように工夫されているところはありますか。

家庭調査員 学校で学んだことを家でやってみることが大切です。「東京書籍」では調理実習について実物大の写真や、針や糸、裁ちばさみ等、小学校で学習したことを活かせるような配列やヒントがたくさんついています。巻末の資料についても、詳しく取り扱われています。

【道徳】

道徳調査員 「東京書籍は」人間関係を養う「出会う・ふれ合う」や、体験活動との関連を図った教材で、人生や生活に生きて働く道徳性を育成できるよう工夫されています。読み物教材とは異なった形式の「活動型教材」が収録されています。様々な活動の中で多面的・多角的な考えを引き出す工夫がされています。

「学校図書」は、「きづき」の教材文と「まなび」の発問や主題名を分けて掲載するこ

とにより、児童が主体的に道徳的価値に気づき、焦点化して考えられるよう工夫されています。いじめの問題について、日常生活で起こりうる状況から、児童自身が問題点を見出し、感じ、考え、判断するための教材や、多様性に焦点をあてた教材から、互いを受け入れることについて考えられる教材を扱い、人権尊重の精神を育むよう配慮されています。

「教育出版」は、教材の冒頭には「導入」が、教材末には「考えよう」「深めよう」「つなげよう」が設けられ、「導入」で学習の目的をつかんで、自分の経験や考えを見つめ、教材を読んだあと、これらを活用して道徳的諸価値の理解を深め、考えや心の変容が実感できるよう工夫されています。体験を通して、行動、考えを深められるよう「モラルスキルトレーニング」が全学年に配されています。

「光村図書出版」は対話を通して深い学びにつなげられるよう、道徳的な問い、道徳的な価値についての理解や自覚を深める、自分に引きつける、の3つの切り口の問いを例示しています。児童が身近に感じられるような設定で、判断に迷う場面を取り上げていたり、役割演技の手立てでは、模範解答にならないように具体的な発言例は示さなかったりと児童が自分のこととして考えられるように工夫されています。

「日本文教出版」は「道徳ノート」には、自身の考えを書く自由記述欄が設けられています。友達の見意見を記入することもできます。それらを通して、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されています。教材の冒頭に主題を示すことで、一回一回の授業でねらいが達成できるよう配慮されています。コラム「心のベンチ」では、教材に関連する素材が提供され、多面的・多角的な思考を促す工夫がされています。

「光文書院」は、児童に寄り添うキャラクターを設定し、共感や気づき、考えるためのポイントや考えを広めるための見方など、さまざまな「問いかけ」を行えるよう配慮されています。情報モラルに関わる内容を題材として扱い、情報社会で適正な活動を行うためのもととなる考え方や態度について、考えられるよう工夫されています。

「学研教育みらい」は、特定の価値観を押し付けない、子供の問題意識・問いを大切にするために、教材の冒頭に主題名を記載しないよう配慮されています。道徳的価値の良さや大切さを、単に外面的に理解することだけではなく、教材に出会う、教材をきっかけとして他者と対応する、会話をもとに自己との関わりを問い直す、という一連のプロセスが授業の中でスムーズに行える構成となっています。「いのちの教育」を全学年通じての最重要テーマとし、「生命の尊重」の内容項目に全学年で各3教材を配当され、生命倫理についても取り扱われています。また、各学年では「いのち」、「生き方」として2つのユニットが設定されています。いじめを多面的・多角的な視点から、自分との関わりで考えを深めるために、様々な内容項目の教材において取り扱っています。

「廣済堂あかつき」は「考えよう 話し合おう」において「登場人物への自我関与が中心の学習」となる教材においても、体験的な学習の視点を踏まえた問いを示すなどして、主題やねらいに応じてそれぞれの要素を組み合わせながら学習できるよう工夫されています。別冊「道徳ノート」を活用して、児童が自分自身の学習を振り返って成長を実感したり、課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されています。

委員長 ワークシートの取り扱いについて、使いやすく、学びが深まる、議論が深まるなど特徴的なところはありますか。

道徳調査員 「学校図書」のワークシートはコンパクトです。気づいたことを書いていくというようになっています。「日本文教出版」ワークシートは、罫線のないところが工夫されています。

C 委員 吹田の子供たちにとって、使いやすいものがあればおしえてください。

道徳調査員 「学研教育みらい」は、教材の冒頭に主題を書いておらず、その方が、これまでの道徳の進め方に、沿った形になっています。教員が考える可能性がひろがると思います。「学校図書」もノーヒントに近くなっています。気づきと学びに分かれており、気づきの方だけで、授業を進めることもできます。また、「学研教育みらい」はデータがあり教員が打ちかえることもできます。

【外国語】

外国語調査員 令和2年度使用教科用図書「外国語活動」の調査結果について報告いたします。「外国語活動」の教科書については、7者について調査活動をいたしました。調査項目について具体的に報告します。

1 「目標・内容の取扱い」については、外国語の知識を理解し、コミュニケーションにおいて活用できる4技能を身に付けられるよう取り扱われているか。また、コミュニケーションを行う目的や場面・状況において、自分の考えや気持ちを伝えあうことができるよう、取り扱われているかを中心に調査しました。各者とも言語活動に向けての語彙の扱いはありますが、そのための資料や語彙の量にはばらつきがありました。例えば、「教育出版」では、聞くことを通した豊富なインプットからはじめ、学んだ表現を使って簡単なやりとりをし、伝えたい内容を読むこと、書くことを経て最終的に話すというアウトプットに展開する構成になっています。また「光村図書出版」では、stepのページでstoryから表現に気付く→英語の知識を理解し、聞く→チャンツ→練習→コミュニケーション→書く活動とスモールステップをふんだ活動の中で語彙を身に付けられるよう工夫されています。

2 「人権尊重の精神に基づいた内容であり、様々な国の出身者が扱われているか」です。各者とも、人権に配慮し、いろいろな国の人物を登場させています。また、すべての会社でユニバーサルデザインフォントが採用されており、色覚特性に配慮されている。「教育出版」では、用語や表現について、人権に十分配慮され、「光村図書」では、レイアウトを統一し、同じ種類の情報を決まった位置に配置するようにしています。

「内容の程度」については、「発達段階や特性を考慮した内容になっているか」です。各者とも、発達段階に即して2年間を通した学習を考えている。5年生では、4年生の学習内容を振り返った上で、児童に身近な内容を扱い、6年生では、世界に視野を広げて題材を扱っています。卒業時には、中学校との接続が意識されています。ただ、扱っている語彙数にはばらつきがあり、「教育出版」では、775語、「光村図書」では721語、となっています。

「組織・配列」については、「コミュニケーションを行う目的・場面・状況が明確に設定され、言語活動を通して資質能力を身に付けられるよう配列されているか」です。各者ともに段階を追って学習が進むように配慮されていますが、方法には特色があります。「教育出版」では、各単元の流れが、聞く→口慣らし→聞く→基本的なやりとり→読む・書く→発表・やりとりとていねいに扱われており、「光村図書出版」では、聞く→チャンツ→練習→コミュニケーション→書く活動とスモールステップを踏んだ活動となっています。「学校図書」では、聞く→繰り返し言う→話す→読む・書くの流れで

構成されていてわかりやすくなっています。

「創意工夫」について各者ともに、デジタル教材、CD、DVD、QRコードなどがあり、児童が学びやすいよう、教師が指導しやすいように配慮されています。その他、異文化理解のための工夫もみられます。「教育出版」では、日本と外国との違いや共通点を理解できるような単元があったり、国際理解コーナーがもうけられていたりしています。「光村図書」では、5・6年生を通じて、教科書が一貫したストーリーになっており、子供たちが交流し、成長することで、異文化への理解を深められるようになっていきます。

「補充的・発展的な内容」です。「教育出版」では、発展的に辞書の使い方について扱い、自分が知りたいことについて自発的な学習に取り組めるようになっていきます。

「光村図書出版」では自宅学習を意識し、QRコードを教科書にのせている工夫がありました。

委員長 どんな先生でも使いやすい教科書はありますか。

外国語調査員 「光村図書出版」の指導者用のデジタル教材で、字幕や音声サポート、授業の流れがわかるようなもの、スモールトークが映像で表示され、実際に授業で使いやすくなっています。「教育出版」では、導入のところから発展のところまでが、見開きのページで扱われていて、開いたときに無理なく扱えるようになっていきます。また、アクティビティの流れがわかりやすくなっています。「学校図書」は、デジタル教材があり、リスニングスクリプトやスモールトークや、指導計画などの補助資料もついています。また、それらを編集することもできます。パーツ再生、ロールプレイなどもできるようになっています。

委員長 読む、書くで工夫のある教科書をおしえてください。

外国語調査員 「教育出版」「光村図書出版」については、書くまでに十分なインプットをしています。まず聞く活動からはじまり、導入では、子供たちが興味を持てるような、身近な内容でリスニングが準備されています。十分に聞く活動に慣れた後に、その語彙を使ってスモールトークやゲームが用意されていて、最後にアクティビティが用意されているので、子供たちが自分で考えて、表現したいことを表現できるようになっていました。

C 委員 モジュール、60分授業に対応するものはありますか。

外国語調査員 どこも、モジュール授業を意識したつくりにはなっています。「光村図書」はユニット、「学校図書」は、ひとつの足跡マークが15分の区切りになっています。

E 委員 楽しく学習できる工夫はありますか。

外国語調査員 「光村図書出版」は、アニメーションによる工夫があります。「教育出版」は、国語で学んだ話や社会の地図記号など、他教科との関連の中で興味もてるようになっており、巻末には自己表現のワークシートや、シールもついており、道案内の単元のところで、興味もてる工夫がされています。ペアトークや、グループで助け合いながら取り組める内容になっています。「学校図書」も自分たちと同じ学年の子が登場するので身

近に感じて学習ができ、異文化や他教科と関連するアクティビティがあったり、世界に目を向けるコーナーもあり、視野を広げることできます。また、自分のことを言うことで興味をもてると考えます。

事務局 ありがとうございます。以上が調査員からの報告でございます。

続きまして、第1回選定委員会でお伝えいたしました通り、本年度は、「特別の教科 道徳」を除く、令和2年度使用教科用図書中学校用の採択替え年度にあたっています。中学校の令和2年度使用教科用図書について、新たに文部科学大臣の検定を経たものがないことから、「4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度の調査結果などを活用することができる」を受けまして、本年度は資料としてつけさせていただきます、平成27年度の調査結果を活用いたします。次回以降の委員会についての説明と依頼をさせていただきます。長時間ありがとうございました。それでは、もう一度、次回以降の委員会についての説明と依頼事項を申し上げます。次回7月1日（月）14時より第3回選定委員会を、教科書について各選定委員よりご意見をいただくことにしています。当日は教育委員会への答申書（いわゆる具申書）案を合わせて事務局より提示させていただきます。報告書、具申書と合わせて協議いただき、その協議内容をもとに、加筆修正された答申書（案）を7月9日（火）15時から開催されます第4回選定委員会にて確認いただき、その後、教育委員会に答申する運びになります。

次に、ご依頼事項でございます。本日以降、選定委員の皆様にも調査報告書をもとに教科書を具体的に検討いただくこととなりますが、男女共同参画センター、山田駅前図書館、さんくす図書館及び拠点校の小学校等で行っております教科書展示会をご活用いただければと思っております。見本本につきましては、本会場にも、展示しておりますので事前にご連絡いただければ閲覧可能です。なお、展示会場での閲覧の際は、閲覧者名簿にお名前をお書きいただきますようお願いいたします。

2つ目は、本日お渡ししました「調査報告書」の取扱いについてでございます。この「調査報告書」は7月9日の第4回の選定委員会で返却いただきますが、それまでの間、教科書内容の研究・検討にご活用いただくとともに厳重に保管いただきますようお願いいたします。当然のことながら、今回の教科書採択終了まで選定委員会の内部資料でございます。外部の方への提供は厳禁ですので、よろしくようお願いいたします。それでは、以上をもちまして第2回選定委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。